



TEIKYO UNIV. SPORTS OFFICIAL YEARBOOK

2018

TEIKYO UNIV. 帝京大学駅伝競走部



EKIDEN

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2018 EKIDEN



帝京大学 駅伝競走部



TEIKYO



「ただ強くあれ」

ランナーとして、速さを追求するのは当然のこと。

加えて、どんな困難にも立ち向かうことができる、強い心を養うこと。

それが“本当に強い選手”になるための条件だ。

決して諦めることなく、挑戦し続けよう。

自主的に考え、自分なりの正解を模索し続けよう。

それが、これまでの自分を超越する契機となるから――。



帝京大学駅伝競走部イヤーズブック発刊に寄せて

学校法人帝京大学 理事長
帝京大学 学長
冲永佳史

本学では、指定強化部の活躍が目立っておりませんが、スポーツの強化というのは日々の積み重ねの結果です。強化に向けたあらゆる努力を地道に続けてきたからこそ、めざましい実績に繋がっているのです。

しかしながら、目立つことが目的になっ
てはいけないと考えております。大学ス
ポーツはプロスポーツと異なり、あくまで
も教育機関が行っている活動であります。
各練習施設やトレーニング施設の拡充はも
ちろん、競技力向上のためのトレーニング
方法や食の管理、けがの際の適切な治療
などを施す、大学に付設するスポーツ医科
学センターや接骨院のバックアップ体制な
ど、すべてが学生の育成を目的としていま
す。

よって、指定強化部で活動している学生
につきましては、これら本学における支援
体制を存分に活用し、さまざまな経験を積
んで社会の中で活躍できる人材へと成長し
ていただけることを期待しております。

帝京大学 八王子キャンパス事務長
古張隆

最先端の機能を取り入れた陸上競技場が
完成してから、練習環境はますます充実
し、以前よりレベルを上げたトレーニング
に勤しんでいる本学駅伝競走部ではありま
すが、近年、各大学が積極的に戦力強化に
励んでいる駅伝競技において、今年1月に
行われた「箱根駅伝」では、総合第9位で

シード権を獲得しましたが、チームとして
は納得できない結果であったことを聞いて
おります。

新チームとなり、主要大会の出場をめざ
すこととなりますが、「箱根駅伝」の連続出
場も含め、上位進出を可能なものとするた
め、走力・チーム力共に高めてほしいと思
います。

三大駅伝競技会での選手たちの躍進を祈
念し、イヤーズブックのあいさつとさせてい
ただきます。

帝京大学 八王子キャンパス
学生スポーツセンター・グループリーダー
強化クラブ室室長
岡野静治

ここ数年、新春の「箱根駅伝」1区ス
タート地点である大手町で選手を見送り、
新年のあいさつをクラブや関係者などと交
わすことが恒例となっております。

往路1区の重責を担う本学ランナーの背
中を、力の限りの「声パワー」で押させてい
ただくわけですが、同時に彼らのその雄姿
を見届けることでこちらが1年分の活力を
充電させてもらおう、そんな清々しい場とも
なっております。

今年、スポーツ医科学センターがパ
ワーアップし、さらなる選手たちへのサ
ポートが予想され、上位入賞を期待してお
ります。来年の1月2日にまた大手町でラ
ンナーを送り出し、最高の新年のスタート
が切れることを期待したいと思います。



なかの たかゆき

1963年生まれ。北海道出身。帝京大学スポーツ医科学センター専任講師。国士館大学で箱根駅伝に4年連続出場。卒業後は雪印乳業に入社して、選手として活躍。引退後に三田工業女子陸上競技部コーチ、特別支援学校の教員、NEC陸上競技部のコーチを務める。2005年に帝京大学駅伝競走部の監督に就任、現在に至る。



正解への道は、ひとつではない

帝京大学駅伝競走部 監督 **中野孝行**

自ら考え、実践する力を身につけること。そして、速さと共に、困難に負けない心の強さを養うこと。「この2つを両立した、本当に強い選手を育てたい」と語る中野監督に、指導にかける思いを聞いた。

撮影＝川本 聖哉 (P7) 取材・文＝笹原 風花

選手を肯定し、挑戦を促す

陸上競技場のトラックの脇で選手たちの走りを見つめる中野。その表情は真剣そのものだが、いつもどこか温かい。選手を頭ごなしに叱ることも、自らの考えを押しつけることもなく、逆に選手たちにやりたいことを問う。

「以前は、私の思うがままに指導したいと思っていた時期もありました。練習メニューを私が事細かに決めてしまえば、確かに選手は伸びます。でもあるとき、本当はもっと伸びる可能性があるのではないかと思うようになりまして。そこで、私のもとに質問をしに来た選手に対して、あえて明確な答えを与えず、選手の考えていること、やりたいことを引き出すように、指導方法を変えたのです」

選手たちは、最初はどこか自信なさげにアイデアを述べる。それを聞いた中野は「やってみようか!」と肯定する。決して否定することはない。「まずは自分で考えた通りにやるのが一番です。選手に責任を負わせているわけではありません。もしうまくいかなければ、それを認めた私の責任だし、そもそも失敗したって良いのです。また別のやり方に挑戦すれば良いだけです」

中野は評価する。

「選手たちから、長距離ランナーに必須の粘り強さや必死さが出てくるようになりました。いつもなら、メンタル面から崩れてしまうような局面も、必死に耐えようともがいていました。これは、以前には感じられなかったことです」

また、前回の箱根駅伝を振り返りながら、中野は人情味あふれる素顔をのぞかせる。「本当に良い選手が多くて、10名に絞るのが大変でした。まさに、断腸の思いだったのです。初めて会った高校時代のこと、厳しい夏合宿に耐えたこと、けがに苦しんだこと……それらが頭に浮かんでしまうと、みんなに走らせてあげたくなるのが本音です。でも、勝負に勝つためには、温情を排して、ときには心を鬼にする必要がある。箱根駅伝の選手選考は毎回本当に辛く、苦しいです」

「帝京大学は今年で12年連続、計20回箱根駅伝に出場しています。実は12年以上連続で箱根駅伝に出場しているのは、帝京大学以外に6チームしかありません。そして、これは箱根駅伝に出場する監督だけの特権なのですが、運営管理車から追いかける選手の後姿はとて頼もしく、凛々しく感じます。私はそんな選手たちの後姿が大好きです」

そして、答えはひとつではないと中野は言う。世界最高峰のエベレストにもさまざまな登り方があるように、目標への到達方法は人によって違って当然。だから、中野はあえて答えを教えない。自ら考え、行動することこそ意義がある。それが中野の信条だ。

前回の箱根は不完全燃焼

中野はめざす大会の目標順位も決めない。目標はあくまでも選手たちが設定するものであり、監督がすべきではないと考えている。

「私は選手たちが目標を立て、やると覚悟を決めたなら、その達成のための協力は惜しみません。前回の箱根駅伝で、選手たちは3位をめざすと言いました。でも実際には、優勝をめざして練習しないと、3位にはなれません。強い気持ちで臨まないといけないということは、常々伝えています」

帝京大学の前回の箱根駅伝の総合順位は9位。シード権こそ勝ち取ったものの、選手たちも中野も「不完全燃焼だった」と口を揃える。しかし「快走できなかった選手を好調だった選手がリカバーすることで、チーム全体として大きく崩れなかったところに、成長を感じました」と

日本一諦めの悪いチームになれ

選手たちは当然、箱根駅伝で結果を出すことを渴望している。しかしその一方で、中野は「箱根駅伝に挑戦することの価値」も強調する。

「大切なことは、結果としての勝ち負けだけではありません。箱根駅伝を走れるのは、毎年ほんの一握りの選手。ここに出場することをめざして、必死に努力をする。そのこと自体に大きな価値があるので、たとえ出場することが叶わなくても、誇りを持ってもらいたいです。4年間頑張り抜いた選手が卒業後に社会で活躍している姿を見ると、心からうれしくなります」

中野は選手に対し、「速さ」を超えた先にある「本当の強さ」を身につけることを希求する。ランナーとして、速さを追求するのは当然だが、加えて、どんな困難にも立ち向かうことができる心の強さを養うこと。それが、本当に強いランナーである。と、中野は考える。

「私が理想とするチームは、本当に強いランナーたちが集う。日本一諦めの悪いチーム。粘って、喰らいついて、最後まで決して諦めない。そして私は、日本一諦めの悪い指導者」と呼ばれたいですね」

そうやって中野は微笑んだ。



Interview 主将の決意

竹下 凱
(四年・主将)

入学前から箱根駅伝の優勝争いを囑望。以降、着実に力をつけ、上位入賞を射程圏内に捉えた。期待を一身に背負い、チームをけん引する主将の竹下が、決意を語った。

撮影=川本 聖哉 取材・文=笹原 風花



10年に1度の勝負の年

ついに最終学年を迎えました。中野監督には入学前から「君たちが四年生になったとき、箱根駅伝で優勝争いがしたい」と期待され、入学後は先輩から「(君たちが箱根駅伝で優勝争いをするために)僕たちにできることはなんでもする」と、支えられてきました。

今年のチームは主力選手がしっかりと走れている、とても良い状態です。「今年は10年に1度あるかないかの勝負の年になる」と中野監督が言うように、本気で箱根駅伝の総合優勝をめざしていきます。

チームづくりについては、中野監督はヒントこそくださるものの、基本的に「まずは主将である君自身で考えなさい」というスタンスです。試行錯誤した結果、出てきたのは「最後に笑顔で終われるチームにする」というシンプルな答えでした。「この仲間たちと共に、駅伝をやってきて良かった」とみんなが思えるチームにしたい。心からそう思います。

笑顔で終わるためには、僕たち自身が納得のいく結果を出さなければなりません。ハードな練習は不可欠ですが、一方で走ることを楽しむ気持ちも大切にしたいと思っています。大事な

のはメリハリをつけること。ときに楽しく、ときに厳しく。やるときはやるチームにしたいです。そのためにも、まずは主将である自分が模範になるよう努めていきます。

箱根駅伝で総合優勝をめざす

帝京大学は施設もスタッフも、とても充実しています。ただ、駅伝競走部に入部したときに中野監督に言われたのが、「トレーニング環境がいくら良くても、自分が努力しないと速くも強くもならない」ということ。どれだけ高い意識を持って臨めるかは、自分次第です。

「帝京大学って、施設は良いよね」と皮肉を言われているようではダメ。「選手あってこそ施設。まずは選手自身が変わらなければ」と、中野監督にはいつも言われてきました。気持ちが緩みかける度にこの言葉を思い出し、奮起してきました。

個人の目標では、5000mで13分台、10000mで28分台の自己ベストを出すことが目標です。そして、最後の箱根駅伝では1区を走って、なんとしても結果を残したいです。箱根駅伝は総合優勝する気で挑まないと、上位に食い込むことさえ困難です。チーム一丸となって、頂点をねらいます。

全員が、思いをひとつに

横井 今年最後の年。悔いが残らないよう練習も試合も全力でいきたい。

畔上 自分は逆に少し肩の力を抜いていこうと思う。学生としては最後まで、これからも続く競技人生の通過点だから。とはいえ、箱根駅伝をめざせるのは今年が最後だから、なんとしても結果を残したい。

中野監督も言うように、今年最後の年。試合に出る人も出ない人も、全員が同じ方向を向くことが大事だと思う。

横井 そうだね。ところで、最近以前にも増して、中野監督が選手の判断に委ねることが増えたと思う。練習メニューも自分たちで考えることが増えたから、自分の調子に合わせて組めるようになった。

畔上 言われた通りにやるのは簡単だけど、自分で考えて決めるのって、意外と大変。ただがむしゃらに練習するだけではなくて、頑張る時期と体を休める時期のメリハリをつけるようになったのは、大きな進歩だと思ってる。

横井 自分はけがに苦しんだ時期もあったけど、焦っても治らないと開き直ったら、気持ちが高まった。苦しいときをどう乗り切るか、気持ちの対処法を

学んだ。

畔上 自分は二年生のときに故障をして、悩んだ時期があった。ちょうどライバルがグングン伸びている時期だったから、愚痴しか出てこないような時期もあった。

横井 そうそう、あの頃はやさぐれてた(笑)。

畔上 でも、練習だけはちゃんとやっていた。負けず嫌いだから(笑)。そして、箱根駅伝を走ったことで自信を取り戻せた。

横井 まさに、スランプを乗り越えたって感じだった。

エースとして、自覚を持つ

畔上 チームの雰囲気は主将の竹下がつくってくれるから、副主将の自分はエースとしてチームを引っ張っていききたい。今年は絶対に負けられない。

横井 自分は竹下・畔上のトップに、実力では負けないという自信がある。大事なところでチームを救える、頼れる選手になりたい。

畔上 自分は1位じゃないと喜べない。だから今年の箱根駅伝は、総合優勝をめざすのみ!

横井 全員でひとつの目標に向かって努力して、結果が出たときの達成感は大い。チーム全員が駅伝をやっている良かっと思えるよう、頑張ろう!

Crosstalk

エース対談
最高学年の決意

畔上 和弥 (四年・副主将)
×
横井 裕仁 (四年)

箱根駅伝で総合優勝をめざす駅伝競走部。エースとして、最高学年としてチームを支え、勝利に導くと決意する畔上と横井が、最後の1年にかかる思いを語り合った。

撮影=川本 聖哉 取材・文=笹原 風花



畔上和弥(左・四年)と横井裕仁(右・四年)



帝京大学駅伝競走部では、自分で考え、決断することがたくさんあります。普段の練習でも、走る距離やタイムを各自で調整できるメニューが多いので、今日の調子はどうか、どれくらいが適量かと、自分の状態を客観的に見られるようになりました。さらに、自分で決めたことは責任を持ってやり遂げるようになりました。このように、さまざまなことをしっかりと考えるだけでなく、実行できるようにするのは、大きな成長だと感じています。

夏合宿は、普段の練習よりきついです。終わったときに体が変わったことを実感できたんです。この練習をやれば強くなると確信しました。また、帝京大学スポーツ医学センターはトレーニング施設が自由に使える、トレーナーも常駐。普段の練習だけでなくトレーニングの補強面も充実しているのは、とてもありがたいです。

前回の箱根駅伝では1区を走り、絶対にミスはできないとプレッシャーで硬くなってしまったので、今回はリラックスした状態で臨みたいですね。また、来年度はユニバーシアード競技大会のハーフマラソンの優勝をめざしているのも、個人としてもチームとしても全力で頑張りたいです。

岩佐 孝誠 (三年)

「自分で考え、自分で決める。だから、責任感が生まれる」



小野 寺悠 (二年)

「強い選手になってチームに貢献。大学3大駅伝すべてに出場する」



今年から取り入れたのが、練習後の補強です。帝京大学スポーツ医学センターの山下先生にアドバイスをいただき、週2回ほど走りを支えるためのトレーニングをしています。帝京大学の練習環境はとても整っていますが、それを生かせるかどうかは自分次第だと思います。「やるのは君たち自身だ」という中野監督の言葉を、いつも忘れないようにしています。

前回の箱根駅伝はメンバーに選ばれたものの、本番では走れなかった。次回は強い選手になってチームに貢献し、大学3大駅伝すべてに出場するのが目標です。ここでいう強い選手とは、ただタイムが速いだけでなく、大事な場面や最後の最後で粘って勝てる、勝負強さを持った選手のことです。僕にはまだまだ足りない部分があるので、体も心も鍛えて下から先輩を追い上げて、最終的にはチームを引っ張っていきける存在になりたいです。

箱根駅伝をめざすという経験は、なかなかできない貴重なことです。結果を追求することはもちろん大事ですが、総合優勝という大きな目標をめざしてチーム一丸となって、日々努力を重ねるといふ経験自体が、将来にも生きるのではないかと思っています。

主力選手インタビュー

遥かなる頂への挑戦



学生長距離ランナーの誰もが憧れる箱根駅伝。この大舞台に出場して、総合優勝をめざして、愚直に努力を重ねる選手がいる。遥かなる頂に向けて挑み続ける彼らが、ビジョンを語った。

撮影=川本 聖哉 取材・文=笹原 風花

田村 文哉 (三年)

「カギを握るのは僕たち三年生。気持ちを引き締めていきたい」



今年、小学生の頃から憧れていた箱根駅伝をついに走る事ができました。走ったのは8区。スタート前はあまり実感がありませんでしたが、走り始めると沿道から大きな声援が聞こえてきて、箱根駅伝を走ることへの喜びを噛みしめました。

僕たち三年生は仲が良いのですが、厳しさの面で少し欠けている部分がありました。中野監督が「三年生次第でチームの雰囲気も悪くもなる」と言うように、カギを握る存在であることを自覚。練習でも率先して前に出て、みんなの気持ちを引き締めていきたいと思っています。今年度の目標は、大学3大駅伝すべてに出場すること。特に箱根駅伝には絶対に出場し、3区を走りたいです。また、高校時代から続けてきた3000m障害で納得のいく好記録を残すことができるよう、トラックの練習にも力を入れたいと思っています。

遠藤 大地 (一年)

「僕たちの代で、なんとしても箱根駅伝で総合優勝する」



今の練習量は、高校のときの倍以上。最初はつらかったですが、その量をこなすことが自信にもなっています。寮での生活にも慣れてきました。共同生活は大変なこともあります。それ以上に楽しい日々を送っています。エースの畔上先輩と同部屋なので、生活面でも良い刺激をもらっています。先輩は言葉で語るタイプではないのですが、普段の様子から、走ることに熱い姿勢を感じます。

先日、初めての公式戦である関東学生陸上競技対校選手権大会に出場しました。高校までとは違い、気持ちを強く持ってスタートラインに立たないと弾か

れてしまふと感じました。これからはメンタル面もしっかり鍛えて、速いだけでなく気持ちの面でも強い選手、プレッシャーがかかった場面や苦しい場面でもライバルより一歩でも前に出られる選手になりたいです。

今の目標は、一年生のうちに5000mで13分台をマークすること。そして、卒業までの目標は、僕たちの代で箱根駅伝の総合優勝を勝ち取ることです。まずは、一年生らしい元気で勢いのある走りをして、チームに活気を与えられる存在になりたいです。そしてゆくゆくは、エースとしてチームを率いる選手になりたいです。

そして、覚醒へ——

撮影=川本 聖哉 取材・文=笹原 風花

帝京大学には素質はもちろん、それ以上に意欲のある選手が多い。彼らは質と量の双方を追求した練習をこなすことで自信をつけ、才能を開花させていく。中心選手へとさらなる覚醒が期待される三人が、競技にかける思いを語り合った。



左から島貫温太、平田幸四郎、吉野貴大（いずれも三年）

「質・量共に圧倒的な練習によって、絶対の自信が身につきます——」（三年・平田幸四郎）

練習量が結果に繋がる

平田 高校時代に比べるとすごく充実した練習ができていたって、最近改めて思う。
島貫 1日の練習量は、高校時代の倍くらい。ポイント練習が増えたから、スピードが強化されたと思う。
吉野 午後の練習に加えて、朝練も週6日行っている。急勾配のあるコースを12km走ったり、多摩川の河川敷を走ったり。最初はきつかった。
平田 約20名の選抜メンバーだけが参加できる、夏の万座合宿もハードだった。
島貫 想像していたよりも断然きつくて、1回しか集団についていくことができなかった。悔しかった。
吉野 自分なんて途中でバスに回収された（笑）。次は絶対走り切るぞって思った。
島貫 幸四郎はあの合宿で開花したね。
平田 この合宿を経験してはじめて、上り坂が得意だったことに気づいた。走っていて楽しくて仕方なかった。
吉野・島貫 信じられない！
平田 自分たちが大会で結果を出すことができるのは、質と量が両立された練習の成果だと思う。自信がつくし、モチベーションも上がる。

誰にでもチャンスがある

島貫 帝京大学は意欲のある選手が多いと思う。貴大は一般入試を受験して入部したんだよね？
吉野 そう。だから自分なりにたくさん努力してきたし、絶対に諦めないという強い覚悟で入部した。帝京大学は選手が育つイメージがあったから、僕にも可能性があると思った。
平田 帝京大学は箱根駅伝の常連だけど、超強豪校とは言い切れない。だから、努力次第で走るチャンスが広がる。
島貫 学年は関係なく、努力した選手にチャンスが与えられるのは、良いところだと思う。
吉野 とところで、次の箱根駅伝では何区を走りたい？
平田 自分は次も5区かな。
島貫 前は10区だったけど、自分は集団の中を走った方が力を出せるタイプだから、次は往路を走りたい。
吉野 自分は今年こそは出場したい。食いが下がる、強い気持ちで挑みたい。
平田 四年生の先輩たちには、箱根駅伝のような大舞台でも物怖じしないメンタルの強さがある。自分たちの代にはまだないから、見習いたい。
島貫 今年は箱根で上位をねらえるチャンスだから、気合いを入れていこう！

主務 × マネージャー対談

大学3大駅伝の展望

期は熟した——。例年以上に厚い選手層に、さらなる飛躍が期待される。そんな駅伝競走部が挑む大学3大駅伝の展望を、“駅伝マニア”を自任する佐藤主務と山崎マネージャーが語り合った。

撮影=川本 聖哉



左から山崎隼輝（二年・マネージャー）、佐藤凌平（四年・主務）

目標

出雲駅伝	7位
全日本駅伝	5位
箱根駅伝	3位



シード権獲得も「不完全燃焼」

佐藤 大学3大駅伝の展望を語る前に、まずは前回の箱根駅伝の結果を振り返ろう。帝京大学は往路12位、復路6位、総合順位9位でフィニッシュした。今回の箱根駅伝のシード権こそ獲得できたけど、この結果について率直にどう思った？
山崎 「不完全燃焼」だったと思います。レースの後、選手も監督もあまりうれしそうではなかったことが印象的でした。
佐藤 そうだね。もっと上位をねらうことが十分にできたはずだから。
山崎 本当にそう思います。あと一歩のところまで競り負けてしまった結果ですから。
佐藤 この悔しさを決して忘れてはいけない。それでは気持ちを切り替えて、今年度の大学3大駅伝の展望について話し合おう。
帝京大学は出雲駅伝で7位、全日本駅伝で5位、箱根駅伝で3位をめざしている。いずれも過去最高位を超えることを目標にしている。
山崎 はい。大会ごとに走行距離は大きく異なりますが、帝京大学は起用する選手を大きく変えないことが特徴です。持久力とスピードを兼ね備えた選手が選ばれます。

諦めの悪い選手が存在がカギ

佐藤 箱根駅伝で3位になるために、帝京大学に必要なことは何だと思っ？
山崎 全選手が箱根で走ることを現実として捉え、切磋琢磨することが重要だと思います。
佐藤 自分もそう思う。諦めの悪い選手が一人でも多く出てくるのが、結果としてチーム力の強化につながるから。また、選手間の仲の良さは帝京大学の良いところだけど、さらに上をめざすためには、チームメイトを蹴落としていくくらいの気概も問われる。
山崎 今年のチームは仲の良さに加え、厳しさがあります。部内の雰囲気は今、とても理想的な状態だと思います。
佐藤 練習の質が上がっていることも見逃せない。他大学のマネージャー、選手と積極的に情報交換を行って、良い練習を取り入れるようになったことも、その一因だと思う。
山崎 その成果が早速表れています。主力はもちろん、準主力にあたる選手たちが次々と大会で好成績を上げています。
佐藤 みんなが100%の力を出し切れば、箱根駅伝3位は決して不可能なことではない。選手層はここ数年で確実に厚くなっているから、期待しよう。

五味 宏生 助教

帝京大学スポーツ医科学センター / アスレティックトレーナー

Mission

リハビリやトレーニングを行って 選手たちのコンディションを整える

けがをした選手のリハビリや、けがを予防するためのトレーニング、体の使い方、マッサージなど、「走ること」以外の部分からアプローチして、選手のコンディションを整えることが私たちの仕事です。大事にしていることは、選手自身の意志。「自分でやるんだ」という強い気持ちや主体的な姿勢がなければ、いくらサポートスタッフが努力しても伸びません。「勝ちたい」「強くなりたいたい」という気持ちを育てるのも、私たちの役目だと考えています。自分たちが駅伝競走部の歴史を変えてやるという強い気持ちで、共に挑んでいきましょう。



大下 太市 助教

帝京大学スポーツ医科学センター / アスレティックトレーナー

Mission

選手のフィジカル面をサポート 共に「夢中」になれる環境を!

私は加藤先生、五味先生と共に、選手たちのフィジカル面のサポートに当たっています。仕事としては、主にけがをしている選手のリハビリと、パフォーマンスを高めたいと考えている選手のトレーニングです。「パフォーマンスを高める」。言葉にすると簡単ですが、さまざまな要素が絡み、正解が分からない中で、少しでも選手のみんなが納得した形でスタートラインに立てるように、選手と共に一緒に考え、取り組んでいくことが重要だと感じています。選手たちと「夢中」にならなくて、お互いワクワクしながら、これからも挑戦していきます。



葛西 真弓 助教

帝京大学スポーツ医科学センター / 管理栄養士

Mission

チーム状況や個に応じたアプローチで 選手たちの個性を生かす

駅伝競走部専属の管理栄養士として、食生活の面から選手たちを支えています。選手に必要なエネルギー・栄養素量を日々の研究から導き出し、献立内容に生かしています。また、チーム状況を踏まえた栄養レクチャーを定期的の実施し、選手たちに栄養の知識を伝えていきます。さらに、個別指導にも力を入れていて、貧血・疲労骨折など選手それぞれの悩みや体質に応じた栄養指導をしています。レース前には何をどのタイミングで食べるか、選手と試行錯誤しながら取り組んでいます。選手の個性を生かせるような指導を心がけていきます。



Support Staff Interview

支えし者たちの誇り

大学最高水準とうたわれる駅伝競走部のサポート体制。コーチ、学生マネージャーの代表である主務、帝京大学スポーツ医科学センターに所属するアスレティックトレーナーや管理栄養士など、選手を支えるさまざまなスタッフが胸の内を語った。

撮影=川本 聖哉 取材・文=笹原 風花(P15)



高橋 拓夢 コーチ

Mission

中野監督のチームづくりをサポート 選手の意見を傾聴し、助言を送る

今年の4月に駅伝競走部のコーチに着任しました。中野監督が理想とするチームづくりを手伝うこと、そして選手たちがランナーとしても、人間的にも大きく成長できるようにサポートすることが、私のミッションです。選手とコミュニケーションを行う上で心がけていることは、常に対等な立場で接すること。そして、選手の意志を尊重し、意見を傾聴した上で、アドバイスを送るように心がけています。選手たちに「帝京大学でよかった」と心から感じてもらうと共に、誰からも愛されるチームになるよう、力を尽くしていきたいと思っています。



佐藤 凌平 主務(四年)

Mission

学生マネージャーたちの仕切り役 監督と共に、チームの運営に携わる

監督やコーチと共にチームの運営に携わる学生マネージャー、そして彼らの長である主務の存在は、高校の部活動との大きな違いです。陸上競技場など校内の施設を利用するための申請や、大会に参加するために必須となる関東学生陸上競技連盟への部員登録など、その仕事は実にさまざま。また、練習時には練習メニューを考えると共に、それに合ったサポートも行います。監督と選手の間立って、チーム全体の動きを調整することも多く、とても大変な仕事ですが、チームを支え、選手と感動を共有できるときは、最高にうれしいです。やりがいを感じる瞬間です。





TOPICS

東京マラソン2018 岩佐が日本人学生 2 位に

2018年2月25日(日)に開催された「東京マラソン2018」に岩佐志誠(医療技術学部三年)が出場し、2時間14分00秒のタイムでゴールした。この記録は日本人学生2位の好記録で、自己ベスト更新となった。



駅伝競走部の選手たちが 視覚障害ランナーをサポート

帝京大学駅伝競走部では、視覚障害ランナーのサポートを行っている。週に一度、盲人マラソンの練習に伴走者として参加している。

全国に1000人以上いる視覚障害ランナーのフルマラソン競技では、多くの選手が伴走者を必要としている。しかし、現在活動している伴走者は、視覚障害ランナーの3分の1程度。帝京大学駅伝競走部では、日本盲人マラソン協会からの依頼を受け、社会貢献の一環としてパラリンピック出場をめざす視覚障害ランナーのサポート



関東インカレ 帝京大学が W 入賞

2018年5月24日(木)~27日(日)に行われた「関東学生陸上競技対校選手権大会」のハーフマラソンで、畔上和弥(医療技術学部四年)が1時間3分49秒で2位、横井裕仁(医療技術学部四年)が1時間4分06秒で3位の好成績を収め、帝京大学がW入賞を果たした。





PLAYERS LIST 2018

2018年 帝京大学駅伝競走部 プレイヤーズリスト

Profile 氏名 / 学部・学科 / 出身高校 / 出身地 / 身長・体重
 ①目標 ②座右の銘 ③ 5000m、10000mの自己ベストタイムと目標タイム



吉田 亮紀

Takaki Yoshida
 医療技術学部スポーツ医療学科
 八戸学院光星 / 青森県 / 163cm・53kg
 ①駅伝を走る②継続は力なり③14分24秒21 (14分20秒)、30分17秒29 (29分30秒)



田村 丈哉

Joya Tamura
 医療技術学部スポーツ医療学科
 市立船橋 / 千葉県 / 177cm・59kg
 ①たくさんの人から笑いを取る②諦めることを諦める③14分33秒41 (13分58秒)、30分30秒54 (29分28秒)



岡 智洋

Tomohiro Oka
 医療技術学部スポーツ医療学科
 日立工業 / 茨城県 / 163cm・48kg
 ①全種目ベスト更新②現状打破③14分32秒93 (14分20秒)、30分30秒70 (29分45秒)



濱川 駿

Shun Hamakawa
 医療技術学部スポーツ医療学科
 米子松蔭 / 鳥取県 / 175cm・55kg
 ①運転免許をとる②笑う門には福来る③14分11秒21 (13分59秒)、29分47秒81 (28分59秒)



吉野 貴大

Takahiro Yoshino
 経済学部経営学科
 東海大学望星 / 神奈川県 / 166cm・50kg
 ①箱根駅伝を走る②いつでも謙虚に、笑顔でありがとう③14分31秒46 (13分59秒)、29分17秒30 (28分59秒)



田村 岳士

Takeshi Tamura
 医療技術学部スポーツ医療学科
 東京学館新潟 / 新潟県 / 170cm・50kg
 ①単位を落とさない②感謝の気持ちを走り表す③14分20秒73 (14分15秒)、29分42秒13 (29分30秒)



後藤 佑太郎

Yutaro Goto
 医療技術学部スポーツ医療学科
 市立船橋 / 千葉県 / 175cm・59kg
 ①帝京の名に恥じぬ走りをする②既成概念を壊せ③14分32秒48 (14分20秒)、30分18秒41 (29分30秒)



横井 裕仁

Hirohito Yokoi
 医療技術学部スポーツ医療学科
 津島 / 愛知県 / 158cm・48kg
 ①箱根駅伝3位②常に冷静であれ③14分11秒78 (13分55秒)、29分09秒65 (28分55秒)



竹下 凱

Kai Takeshita
 医療技術学部スポーツ医療学科
 常葉橘 / 静岡県 / 168cm・51kg
 ①笑って卒業する②努力は裏切らない③14分03秒69 (13分55秒)、29分09秒66 (28分55秒)



齋藤 慎一

Shin Saito
 医療技術学部スポーツ医療学科
 伊勢崎商業 / 群馬県 / 169cm・55kg
 ①大学三大駅伝のどれか1つを走る②迷いなら捨てて後腐れなし③14分26秒58 (14分10秒)、30分25秒80 (29分45秒)



大塚 瑞季

Mizuki Otsuka
 医療技術学部スポーツ医療学科
 白鷺大足利 / 栃木県 / 175cm・58kg
 ①悔いがない1年にする②継続は力なり③14分30秒57 (14分20秒)、30分27秒28 (29分30秒)

4th Grade

PLAYERS LIST
2018
EKIDEN

四年生



中島 尚幸

Naoyuki Nakajima
 経済学部経営学科
 市立松戸 / 千葉県 / 182cm・75kg
 ①箱根駅伝をより盛大に②限界を決めない③14秒60 (110mH)



中江 颯朗

Soichiro Nakae
 医療技術学部スポーツ医療学科
 清風 / 大阪府 / 178cm・56kg
 ①筋肉をつける②ワンフォール③14分44秒82 (14分30秒)、29分57秒52 (29分40秒)



小林 万修

Banshu Kobayashi
 医療技術学部スポーツ医療学科
 十日町 / 新潟県 / 175cm・60kg
 ①箱根駅伝を走る②継続は力なり③14分28秒11 (14分20秒)、30分22秒94 (29分45秒)

3rd Grade

PLAYERS LIST
2018
EKIDEN

三年生



長山 奨

Sho Nagayama
 医療技術学部スポーツ医療学科
 那須拓陽 / 栃木県 / 182cm・70kg
 ①箱根駅伝3位、AT試験1発合格、人生を楽しむ②目は高く頭は低く心は広く③15分09秒73、2018GGT (4分20秒)



佐藤 凌平

Ryohei Sato
 教育学部教育文化学科
 住吉 / 神奈川県 / 172cm・60kg
 ①人の未来を創る仕事に就く②目配り、気配り、心配り③15分33秒97、2018GGT (4分30秒)



橋高 健一

Kenichi Kittaka
 医療技術学部スポーツ医療学科
 興譲館 / 広島県 / 167cm・54kg
 ①笑顔で卒業②コツコツは勝つコツ③14分46秒56 (14分45秒)、30分19秒35 (30分00秒)



畔上 和弥

Kazuya Azegami
 医療技術学部スポーツ医療学科
 関根学園 / 新潟県 / 171cm・53kg
 ①箱根駅伝2区68分切り②勝つことは偶然じゃない③14分11秒06 (13分55秒)、28分41秒68 (28分30秒)



平田 幸四郎

Koshiro Hirata
 医療技術学部スポーツ医療学科
 久御山 / 京都府 / 175cm・52kg
 ①10000m28分台②継続は力なり③14分16秒13 (14分10秒)、29分13秒11 (28分59秒)



小森 稜太

Ryota Komori
 医療技術学部スポーツ医療学科
 いなべ総合学園 / 三重県 / 167cm・53kg
 ①ハーフマラソン62分台②継続は力なり③14分32秒10 (14分20秒)、29分49秒40 (29分15秒)



安立 弘樹

Hiroki Adachi
 法学部法律学科
 加藤学園 / 静岡県 / 165cm・54kg
 ①全種目ベスト更新②健康第一③14分38秒24 (14分30秒)、30分27秒48 (29分59秒)



新関 友基

Yuki Niizeki
 医療技術学部スポーツ医療学科
 札幌山の手 / 北海道 / 172cm・55kg
 ①箱根駅伝を走る②日進月歩③14分08秒48 (14分58秒)、29分38秒44 (29分05秒)



砂賀 正輝

Masaki Sunaga
 医療技術学部スポーツ医療学科
 前橋育英 / 群馬県 / 165cm・59kg
 ①残りの陸上人生を楽しむ②努力の上に花は咲く③14分36秒12 (14分30秒)、30分29秒27 (29分59秒)



幸崎 一聖

Issei Kosaki
 医療技術学部スポーツ医療学科
 清風 / 大阪府 / 170cm・53kg
 ①残りの陸上人生を楽しむ②自利他③14分36秒65 (14分25秒)、30分02秒47 (29分59秒)



阿部 有希

Yuki Abe
 医療技術学部スポーツ医療学科
 農大二 / 群馬県 / 168cm・61kg
 ①幸せな家庭を築く②不撓不屈③14分46秒12 (14分20秒)、30分52秒74 (30分30秒)



政光 瑛

Akira Masamitsu
 医療技術学部スポーツ医療学科
 西条農業 / 広島県 / 169cm・54kg
 ①けがをしない②継続は力なり③14分45秒55 (14分30秒)、30分10秒56 (29分50秒)



島貫 温太

Atsuto Shimanuki
 医療技術学部スポーツ医療学科
 市立柏 / 千葉県 / 173cm・56kg
 ①チームに貢献する②明日は明日の風が吹く③14分06秒19 (13分49秒99)、29分14秒35 (28分44秒99)



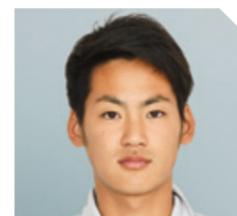
岩佐 吉誠

Issei Iwasa
 医療技術学部スポーツ医療学科
 徳島科学技術 / 徳島県 / 168cm・55kg
 ①ユニバーシアードハーフマラソンでメダルをとる②品と礼儀と愛想は良く③14分10秒57 (13分55秒)、29分11秒41 (28分50秒)



仁平 翔

Kakeru Nihei
 医療技術学部スポーツ医療学科
 佐野日大 / 栃木県 / 175cm・60kg
 ①運転免許をとる②自利利他③14分43秒10 (14分30秒)、30分49秒42 (30分00秒)



高村 敦史

Atsushi Takamura
 教育学部教育文化学科
 武蔵越生 / 埼玉県 / 162cm・49kg
 ①保健体育の教員になる②活動③14分54秒06 (14分40秒)、31分50秒43 (30分30秒)



小林 誠

Makoto Kobayashi
 医療技術学部スポーツ医療学科
 中之条 / 群馬県 / 169cm・54kg
 ①後悔することなく大学生活を終える②自分を信じないやつなんかに努力する価値はない③14分39秒73 (14分25秒)、29分49秒21 (29分30秒)



井手 優太

Yuta Ide
 医療技術学部スポーツ医療学科
 関西学院 / 兵庫県 / 175cm・57kg
 ①悔いなく卒業する②自分じゃない誰かのために生きる③14分44秒90 (14分20秒)、30分51秒53 (30分00秒)



安村 晴樹

Haruki Yasumura
医療技術学部スポーツ医療学科
西京/山口県/172cm・63kg
①自律する②日々努力③14分41秒02 (14分20秒)、-(29分30秒)



服部 廉己
— マネージャー —

Renki Hattori
法学部法律学科
加藤学園/静岡県/176cm・60kg
①選手の支えになる②冥冥之志③15分15秒82、2018GGT(4分30秒)



佐藤 拓人

Takuto Sato
医療技術学部スポーツ医療学科
中越/新潟県/167cm・52kg
①箱根駅伝で活躍する②一生懸命のんびりしよう③14分30秒53(13分59秒)、31分17秒93(28分40秒)



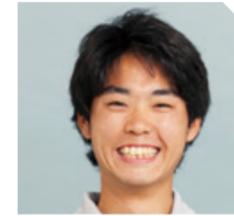
吉田 律哉

Ritsuya Yoshida
医療技術学部スポーツ医療学科
京都外大西/京都府/167cm・51kg
①安定感をつける②不撓不屈③14分29秒48 (14分20秒)、29分58秒77(29分30秒)



星 岳一

Gaku Hoshi
医療技術学部スポーツ医療学科
明成/宮城県/163cm・49kg
①箱根駅伝を走る②行動で示す③14分14秒09 (13分59秒)、29分12秒09(28分59秒)



谷村 龍生

Ryo Tanimura
医療技術学部スポーツ医療学科
西京/山口県/169cm・53kg
①東京ドームライブ②100年経っても谷村③14分22秒56 (14分15秒)、29分34秒87 (29分20秒)



渡部 裕輝

Hiroki Watabe
教育学部教育文化学科
清風/大阪府/180cm・62kg
①箱根駅伝を走る②人生は一度きり③14分56秒14(14分25秒)、-(29分30秒)



平石 佑馬

Yuma Hiraishi
教育学部教育文化学科
桂/京都府/168cm・58kg
①1日1日を楽しむ②念ずれば花は咲く③14分40秒03(14分25秒)、-(29分30秒)



寺島 溪一

Keichi Terashima
医療技術学部スポーツ医療学科
前橋育英/群馬県/176cm・59kg
①けがをしない②やる気になったら本気③14分32秒56(14分20秒)、31分16秒90(29分45秒)



荒木 翼

Tsubasa Araki
経済学部経済学科
八代東/熊本県/170cm・53kg
①箱根駅伝を走る②人生一度きり③15分11秒98 (14分20秒)、-(29分30秒)



渡邊 悠斗

Yuto Watanabe
医療技術学部スポーツ医療学科
東北高/宮城県/172cm・58kg
①貯金をする②持ちつ持たれつギブアンドテイク ③14分35秒64 (14分19秒99)、30分21秒74(29分40秒)



増田 空一

Sora Masuda
医療技術学部スポーツ医療学科
小豆島/香川県/182cm・63kg
①父の記録を超える②経られる前に経る③14分25秒12(14分10秒)、30分17秒61(29分30秒)



鳥飼 悠生

Yuki Torikai
医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋/千葉県/175cm・64kg
①箱根駅伝を走る②有言実行③14分29秒09 (14分15秒)、30分11秒74(29分30秒)



甘崎 勝一

Sho Amasaki
経済学部経済学科
世羅/広島県/175cm・59kg
①速い選手より強い選手に②なぜか③15分00秒72(14分50秒)、-(30分30秒)



細谷 翔馬

Syoma Hosoya
医療技術学部スポーツ医療学科
東北/山形県/172cm・55kg
①箱根駅伝を走る②人事を尽くして天命を待つ③14分27秒01 (14分20秒)、31分14秒78 (29分40秒)



仲亀 京助
— マネージャー —

Kyosuke Nakagame
経済学部経営学科
加藤学園/静岡県/168cm・52kg
①チームを全面的に支える②獅子博覧③2018GGT(4分24秒99)



遠藤 大地

Daichi Endo
医療技術学部スポーツ医療学科
古川工業/宮城県/173cm・58kg
①元気に頑張る②愛は勝つ③14分11秒80 (13分55秒)、29分32秒11(28分55秒)



田中 理紗子
— 関東学連常任幹事 —

Risako Tanaka
経済学部経済学科
名古屋西/愛知県/158cm
①多くの人に陸上の良さ、楽しさを知ってもらおう②継続は力なり③26分32秒20 (5000mW)



森 一平
— マネージャー —

Ippei Mori
医療技術学部スポーツ医療学科
諫早/長崎県/178cm・72kg
①倒れないマネージャーになる②七転び八起き③15分22秒10、2018GGT(4分20秒)



日野 大翔

Hiroto Hino
医療技術学部スポーツ医療学科
札幌山の手/北海道/172cm・61kg
①箱根駅伝を走る②継続は力なり③14分59秒27 (14分30秒)、-(29分30秒)



小野寺 悠一

Haruka Onodera
法学部法律学科
加藤学園/静岡県/172cm・56kg
①日本一周②Invisible Force③14分12秒47 (13分50秒)、29分24秒86(28分50秒)



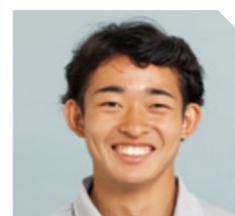
三原 魁人

Kaito Mihara
医療技術学部スポーツ医療学科
洛南/京都府/177cm・55kg
①大学3大駅伝を走る②人生はアート③14分37秒13(13分59秒)、-(29分00秒)



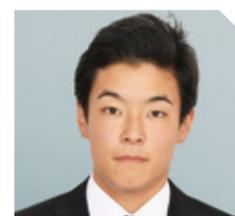
中村 風馬

Fuma Nakamura
医療技術学部スポーツ医療学科
草津東/滋賀県/168cm・53kg
①箱根駅伝で活躍する②継続は力なり③14分38秒71(14分15秒)、32分05秒99(29分30秒)



國本 尚希

Naoki Kunimoto
医療技術学部スポーツ医療学科
出水中央/熊本県/169cm・58kg
①実業団に入る②強いメンタルがあれば負けることはない③14分38秒05 (14分15秒)、-(29分20秒)



藤田 翔暉
— 関東学連常任幹事 —

Shoki Fujita
経済学部経営学科
浜松市立/静岡県/168cm・65kg
①常にプラス思考②自分で選択し、自分で考え自分で決断し、自分で行動する③-



山崎 隼輝
— マネージャー —

Toshiki Yamazaki
医療技術学部スポーツ医療学科
相洋/神奈川県/170cm・54kg
①頼られる存在になる②自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよう③15分45秒81、2018GGT(4分20秒)



日野原 智也

Tomoya Hinohara
医療技術学部スポーツ医療学科
伊勢崎商業/群馬県/171cm・64kg
①けがをしない②終わりなければすべてよし③14分28秒35 (14分15秒)、29分51秒12 (29分30秒)



境 勇樹

Yuki Sakai
医療技術学部スポーツ医療学科
西脇工業/兵庫県/173cm・55kg
①箱根駅伝を走る②思い描いて夢叶う③14分31秒67(14分10秒)、30分18秒14(29分20秒)



森田 瑛介

Eisuke Morita
教育学部教育文化学科
前橋育英/群馬県/177cm・57kg
①箱根駅伝を走る②失敗を恐れることが失敗である③14分32秒90 (14分13秒)、30分33秒47 (29分34秒)



橋本 尚斗

Naoto Hashimoto
教育学部教育文化学科
鳴門/徳島県/163cm・59kg
①箱根駅伝を走る②念ずれば花は咲く③14分22秒11(14分15秒)、-(29分30秒)



郷 明日翔

Asuka Go
教育学部教育文化学科
九州学院/熊本県/165cm・50kg
①箱根駅伝を走る②素直で謙虚に懸命に③14分45秒52(14分30秒)、-(30分00秒)



山根 昂希

Koki Yamane
医療技術学部スポーツ医療学科
和歌山北/和歌山県/170cm・50kg
①大学3大駅伝出走②一生懸命③14分36秒38 (14分10秒)、29分47秒67(29分20秒)



福島 健斗

Kento Fukushima
医療技術学部スポーツ医療学科
武蔵越生/埼玉県/177cm・64kg
①箱根駅伝を走る②一意専心③14分29秒67 (14分10秒)、-(30分00秒)



鈴木 拓一

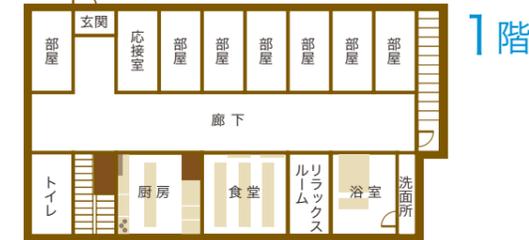
Taku Suzuki
医療技術学部スポーツ医療学科
浜松日体/静岡県/167cm・58kg
①路上さん②やらない善よりやる善③14分49秒51(14分35秒)、-(29分59秒)

プライベートルーム



選手たちのプライベートルームは1階と2階にある。2人で共有している部屋は、選手の性格や趣味などが反映され、部屋ごとに個々のカラーが出ている。

各部屋の前にあるラックには、ランニングシューズがぎっしり。



食堂&厨房



食堂&厨房共にいつでも利用可能。食堂ではスポーツ医学センターから支給されたお弁当を食べたり、フリースペースとしても活用できる。厨房には、大きな業務用冷蔵庫や調理器具がひと通り揃う。料理上手な選手が自炊をすることも。

陸上競技場紹介

駅伝競走部が練習を行う陸上競技場は、日本陸上競技連盟より第4種公認陸上競技場として認定されており、競技会や記録会にも使用できる。特長を紹介しよう。

陸上競技場



400m×6レーンのトラックには、国際陸上競技連盟IAAFオフィシャルサプライヤーのMONDO社製(イタリア)のスポーツフレックス・スーパーXを使用。全天候型のトラック材で、グリップ力、衝撃吸収力、反発力に優れている。オリンピックではリオ大会を含め7大会連続、世界陸上など多くの国際大会で実績がある。

更衣室



デスク、トレーニングマシンなどがある。ミーティングをする際にも活用している。

シャワー室



個室シャワーを6つ備える。選手たちがトレーニング後に汗を流して帰る。

教員控室



学外の指導者など、来客時に使用するほか、大会映像の分析や、選手のフォームの癖をチェックするなどの研究も行っている。

浴室



浴室は大きく、1度に5~6人が利用できる。湯船にゆっくりつかって、練習後の疲れをしっかりとる。

リラックスメーム



マッサージベッドやバランスボールなど、さまざまな器具が揃う。選手同士でマッサージをすることも。

応接室



合宿所への来訪者を通す部屋。壁には大会のポスターやユニフォームが飾られている。

合宿所でも熱くなれ！意識を高めるグッズ紹介

箱根駅伝をめざす選手たる者、日常生活でも準備を整えなければならない。選手たちの意識を高める、オリジナルグッズの数々を紹介しよう。

玄関



下駄箱には各自の目標を張り出している。

日めくりカレンダー



箱根駅伝までの残り日数は、常に確認！

マガジンラック



駅伝に関する雑誌や本が並ぶ。情報収集も怠ってはいけない。



世界一諦めの悪いチームをつくる。
それが、指導者としての目標です。



社会で活躍する駅伝競走部 OB が、
帝京大学での学びを振り返る。

撮影＝川本聖哉

ー 現在のお仕事を教えてください。
茨城県立日立工業高校の常勤講師として、機械科の授業の実習手を務めています。また、陸上競技部の顧問も受け持っています。

ー 思い出に残っているレースは何ですか。
2度の箱根駅伝はとりわけ印象に残っています。私が初出場したのは三年生のとき。憧れの舞台に立っていることが信じられなくて、まるで夢の中にいるような心地でした。

ー 私は、任された8区を夢中になって走り、チームは歴代最高となる4位でフィニッシュ。ここで燃え尽きることなく、来年はこの順位を超えてやるという思いが強くなりました。

2度目の箱根駅伝も8区を走りました。ゴールが近づいた頃、運営管理車に乗っている中野監督に「4年間、ありがとっな」と声をかけてもらえたことが忘れられません。うれしくて、涙ぐみながら走りました。

ー 帝京大学で学んだことで、印象に残っていること、現在も生きていることはありますか。
たくさんあります。生徒たちを指導するとき、「中野監督だったらどうするのかな？」と考えることがあります。もしかしたら、知らず知らずのうちに、中



野監督と同じことを教えているかもしれません。

ー 指導者としての目標を教えてください。
「世界一諦めの悪いチーム」をつくることですね。そのためには私も「本当に強い選手」を育てたい。速さはもちろん、どんなときも、誠実に振る舞うことができる人間であること。それが強さなのだ、私は思います。

また、私は中野監督のように、生徒が弱っているときこそ側にいてあげられるような先生になりたいと思います。

ー 最後に、後輩にメッセージをお願いします。
大学時代にしか挑戦できないことに、一生懸命取り組んでください。その際、損得勘定は抜きにしてください。がむしゃらになって取り組んだ経験は、必ず自分の力になりますから。

駅伝競走部 OB の主な就職先 (過去3年分)

【公的機関など】

唐津市消防本部/警視庁/下北地域広域行政事務組合消防本部/日本鍼灸理療専門学校/防衛省陸上自衛隊/箕面市教育委員会

【一般企業】

アーク引越センター/アイドマ・ホールディングス/一条工務店/ウィルグループ/エツキ/エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ東日本/大塚製薬工場/オープンハウス/オルディ/カワダ/CSS 技術開発/JFE スチール/ジューテックホールディングス/住友林業/セイコーウオッチ/積水ハウス/大和ハウス工業/タカラミーマーケティング/トヨタ紡織/ネントリース/野村證券/パーク二四/パナソニックグループ/日立物流/広島トヨタ自動車/平成建設/ペネフィット・ワン/村中医療器/ランドパワー/YKK/ワールドコーポレーション/わらべや日洋/(50音順)

Sports Science & Medicine

帝京大学スポーツ医科学センター

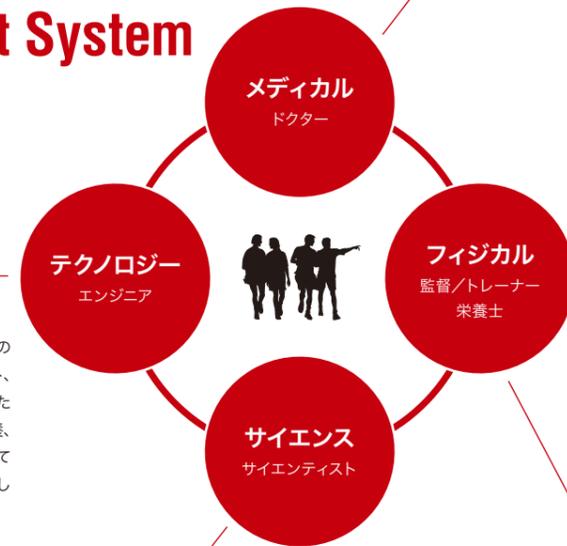


スポーツ医科学をさらに究め、 学生たちを安全に、健康に、強くする

帝京大学スポーツ医科学センターは、各クラブを「メディカル」「サイエンス」「フィジカル」「テクノロジー」の4方面から支えるため、スポーツ傷害の予防と治療方法の発展、パフォーマンスの向上および、スポーツを支える人材育成などを目的に2011年に設立されました。学生がより安全に、より健康に、より強くなれるよう日々取り組み、サポートしています。

Total Support System

各クラブを4方面から支える
トータルサポートシステム



Technology Support

テクノロジーサポート

テクノロジー部門では、スポーツ医科学の見地に基づいた総合的な競技者サポート、トレーニングの管理・支援を実施するための情報システム部門です。映像、栄養、医学などの複数のサブシステムに分かれており、それらが相互に関連しながら機能していく予定です。

Science Support

サイエンスサポート

サイエンス部門では、選手に関するデータの測定・分析を実施。それらを検証することで、科学的根拠に基づく新しい測定法・評価法の開発を行っています。



Medical Support

メディカルサポート

メディカル部門では、臨床の第一線で活躍するスポーツドクターが、迅速な対応と最先端の医療提供を実現。練習・試合・合宿への同行など、選手との日常的なかかわりを通してスポーツ傷害の早期発見・予防を行います。また、帝京大学医学部附属病院はもちろんのこと、全国の医療機関と連携し、選手の診療にあたっています。



Physical Support

フィジカルサポート

栄養

栄養グループは管理栄養士により構成され、各測定や調査に基づく個々の栄養状態から競技特性を考慮したうえで、コンディション維持・向上を目的とした栄養サポート(栄養指導、食教育、食事提供等)を行っています。

トレーナー

トレーナーグループにはアスレティックトレーナーとフィジカルコーチが所属し、選手に対する傷害の予防とコンディショニング、スポーツ傷害からの早期復帰支援などの専門業務に加え、選手の自立を促す活動に取り組んでいます。



スポーツ医科学センター棟が9月にオープン

これまで学内外のアスリートの支援活動などを通して多くの成果を生み出してきましたが、その機能をより深化させるため、八王子キャンパス内に同センター棟を新築しました。新しいセンターは、地上5階建て、9,000㎡以上の床面積を有し、研究室の他にメディカルチェックルーム、各種リハビリ施設、測定エリアや物理療法室を備えたトレーニング施設、アリーナおよび食堂などを配置した、充実した機能となります。新しい拠点から多様なスポーツ医科学の情報発信をさらに進め、教学研究の充実と共に広く社会貢献をめざしてまいります。



2017年後半～2018年前半の主な大会記録

2017年10月15日(日)

第42回板橋区・高島平ロードレース大会

高島平5km周回コース

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
小森 稜太	2	59:51	20km	4位	自己新
田村 岳士	2	1:00:52	20km	7位	自己新
鳥飼 悠生	1	1:01:20	20km	14位	自己新
谷村 龍生	1	1:01:41	20km	19位	自己新
新関 友基	3	1:01:47	20km	20位	
山根 昂希	1	1:01:49	20km	22位	自己新
後藤 佑太郎	2	1:01:55	20km	24位	自己新
小林 誠	3	1:01:59	20km	25位	自己新
大塚 瑞季	3	1:02:23	20km	29位	
岡 智洋	2	1:02:36	20km	32位	自己新
吉田 堯紀	2	1:02:44	20km	34位	自己新
橋高 健一	3	1:02:54	20km	38位	自己新
小手川 智紀	4	1:03:58	20km	52位	
幸崎 一聖	3	1:04:04	20km	54位	
鈴木 拓	1	1:04:19	20km	55位	自己新
日野原 智也	1	1:04:28	20km	58位	自己新
吉田 将人	4	1:04:30	20km	59位	
渡邊 悠斗	1	1:04:57	20km	62位	自己新
吉田 律哉	1	1:06:00	20km	70位	自己新

2017年11月19日(日)

第30回記念2017上尾シティハーフマラソン

上尾市内折り返しコース

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
後藤 佑太郎	2	1:04:12	ハーフマラソン	33位	自己新
鳥飼 悠生	1	1:04:30	ハーフマラソン	39位	自己新
齋藤 慎	3	1:04:42	ハーフマラソン	48位	自己新
山根 昂希	1	1:05:42	ハーフマラソン	102位	自己新
岡 智洋	2	1:05:44	ハーフマラソン	106位	自己新
境 勇樹	1	1:05:53	ハーフマラソン	113位	自己新
渡辺 貴裕	4	1:06:26	ハーフマラソン	136位	
大塚 瑞季	3	1:06:33	ハーフマラソン	141位	
吉田 律哉	1	1:06:35	ハーフマラソン	143位	自己新
政光 瑛	2	1:07:07	ハーフマラソン	170位	
福島 健斗	1	1:07:31	ハーフマラソン	183位	自己新
吉田 将人	4	1:07:37	ハーフマラソン	188位	
幸村 亮太	4	1:07:42	ハーフマラソン	193位	自己新
安立 弘樹	2	1:08:04	ハーフマラソン	207位	自己新
増田 空	1	1:08:25	ハーフマラソン	219位	自己新
平本 駿椰	3	1:08:46	ハーフマラソン	228位	
井田 湧希	4	1:08:49	ハーフマラソン	231位	
谷村 龍生	1	1:08:49	ハーフマラソン	235位	
高村 敦史	3	1:09:01	ハーフマラソン	246位	
阿部 有希	3	1:09:22	ハーフマラソン	254位	
日野 大翔	1	1:09:47	ハーフマラソン	267位	自己新
渡邊 悠斗	1	1:09:49	ハーフマラソン	269位	自己新
中江 颯一郎	2	1:15:44	ハーフマラソン	324位	

2018年3月4日(日)

第21回日本学生ハーフマラソン選手権大会

陸上自衛隊立川駐屯地、国営昭和記念公園及びその外周道路

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
島貫 温太	2	1:03:53	ハーフマラソン	8位	入賞・自己新
田村 丈哉	2	1:04:17	ハーフマラソン	14位	自己新
平田 幸四郎	2	1:04:30	ハーフマラソン	18位	自己新
小野寺 悠	1	1:04:31	ハーフマラソン	19位	自己新
星 岳	1	1:04:58	ハーフマラソン	35位	自己新
吉野 貴大	2	1:05:09	ハーフマラソン	44位	
横井 裕仁	3	1:05:10	ハーフマラソン	46位	
田村 岳士	2	1:05:16	ハーフマラソン	54位	自己新
濱川 駿	3	1:05:23	ハーフマラソン	60位	
山根 昂希	1	1:05:40	ハーフマラソン	71位	自己新
後藤 佑太郎	2	1:05:44	ハーフマラソン	76位	
橋高 健一	3	1:05:59	ハーフマラソン	95位	
境 勇樹	1	1:06:40	ハーフマラソン	149位	
齋藤 慎	3	1:06:41	ハーフマラソン	150位	
小林 誠	3	1:07:23	ハーフマラソン	199位	
大塚 瑞季	3	1:07:24	ハーフマラソン	201位	
谷村 龍生	1	1:07:35	ハーフマラソン	214位	自己新
阿部 有希	3	1:08:21	ハーフマラソン	284位	自己新
福島 健斗	1	1:08:26	ハーフマラソン	290位	
幸崎 一聖	3	1:08:31	ハーフマラソン	293位	
新関 友基	3	1:08:48	ハーフマラソン	322位	
安立 弘樹	2	1:09:07	ハーフマラソン	359位	
井手 優太	3	1:09:32	ハーフマラソン	397位	
政光 瑛	2	1:10:31	ハーフマラソン	476位	
鳥飼 悠生	1	1:10:46	ハーフマラソン	492位	
高村 敦史	3	1:13:59	ハーフマラソン	665位	

2018年3月18日(日)

2018新潟ハーフマラソン

新潟ビッグスワンハーフマラソンコース

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
畔上 和弥	3	1:02:30	ハーフマラソン	1位	優勝
田村 岳士	2	1:02:55	ハーフマラソン	8位	入賞

2018年4月1日(日)

第34回日本平桜マラソン

静岡県草薙総合運動場・陸上競技場とその周辺道路

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
小野寺 悠	2	1:13:46	23.5km	1位	優勝
境 勇樹	2	1:17:27	23.5km	10位	
後藤 佑太郎	3	1:20:25	23.5km	15位	

2018年5月24日(木)～27日(日)

第97回関東学生陸上競技対校選手権大会

相模原ギオンスタジアム・女子美術大学周回ハーフマラソンコース

■1日目/24日(木)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
新関 友基	4	3:54.80	1500m	予選1組5位	
鳥飼 悠生	2	4:01.90	1500m	予選2組10位	
齋藤 慎	4	3:51.79	1500m	予選3組3位	決勝進出
中島 尚幸	3	15.84	110mH	予選2組8位	
岩佐 竜誠	3	30:04.35	10000m	決勝16位	
小野寺 悠	2	30:27.52	10000m	決勝22位	
星 岳	2	30:32.65	10000m	決勝24位	

■2日目/25日(金)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
細谷 翔馬	1	9:22.25	3000mSC	予選1組7位	
田村 丈哉	3	9:14.44	3000mSC	予選2組1位	決勝進出
境 勇樹	2	9:17.50	3000mSC	予選2組6位	決勝進出
齋藤 慎	4	3:52.74	1500m	決勝6位	入賞

■3日目/26日(土)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
田村 丈哉	3	9:06.53	3000mSC	決勝9位	
境 勇樹	2	9:17.13	3000mSC	決勝11位	

■4日目/27日(日)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
畔上 和弥	4	1:03.49	ハーフマラソン	決勝2位	入賞
横井 裕仁	4	1:04.06	ハーフマラソン	決勝3位	入賞
平田 幸四郎	3	1:06:24	ハーフマラソン	決勝19位	
竹下 凱	4	14:21.91	5000m	決勝11位	
遠藤 大地	1	14:24.72	5000m	決勝12位	
島貫 温太	3	14:36.18	5000m	決勝17位	

2018年6月15日(金)～17日(日)

2018日本学生陸上競技個人選手権大会

Shonan BMW スタジアム平塚

■2日目/16日(土)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
新関 友基	4	15:05.63	5000m	TR決勝1組26位	TR決勝総合74位
谷村 龍生	2	14:28.37	5000m	TR決勝2組15位	TR決勝総合50位

■3日目/17日(日)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
細谷 翔馬	1	9:25.06	3000mSC	TR決勝1組11位	TR決勝総合36位
橋本 尚斗	1	9:14.38	3000mSC	TR決勝2組9位	TR決勝総合23位
平石 佑馬	1	9:40.13	3000mSC	TR決勝2組16位	TR決勝総合44位
田村 丈哉	3	9:07.66	3000mSC	TR決勝3組5位	TR決勝総合12位

2018年6月30日(土)

秩父宮賜杯第50回全日本大学駅伝対校選手権記念大会

関東学生陸上競技連盟推薦校選考会

浦和駒場スタジアム

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
帝京大学		4:07:23.33	8人の合計タイム	第5位	本戦出場
遠藤 大地	1	30:48.58	10000m	1組1位	
田村 岳士	3	31:12.60	10000m	1組17位	
岩佐 竜誠	3	30:57.55	10000m	2組1位	
小野寺 悠	2	31:13.79	10000m	2組8位	
横井 裕仁	4	30:46.18	10000m	3組4位	
吉野 貴大	3	31:40.43	10000m	3組30位	
島貫 温太	3	30:13.48	10000m	4組16位	
畔上 和弥	4	30:30.72	10000m	4組21位	

2018年11月4日(日)に行われる「秩父宮賜杯第50回全日本大学駅伝対校選手権記念大会」への「4大会連続11回目」の出場権を獲得した。

帝京大学 歴代50傑

5000m 歴代50傑

順位	名前	タイム	大会名	場所	日付	は現役部員
1	柳原 貴大	13:50.45	第239回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2014/9/28	
2	熊崎 健人	13:52.44	第236回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2014/4/13	
3	北島 吉章	13:53.57	延岡記録会	西階陸上競技場	2000/5/3	
4	戸村 将幸	13:54.70	第152回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2003/9/23	
5	西村 知修	13:55.00	第193回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2008/4/19	
6	安藤 慎治	13:55.47	第89回関東学生陸上競技対校選手権大会	国立霞ヶ丘競技場	2010/5/23	
7	中崎 幸伸	13:56.04	春季延岡記録会	西階陸上競技場	2000/4/29	
8	谷川 嘉朗	13:57.34	春季延岡記録会	西階陸上競技場	2000/4/29	
9	中村 亮太	13:57.36	第207回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2010/5/2	
10	清水 健司	13:59.28	第185回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2007/4/15	
11	久保 芳斗	14:02.26	第119回東海大学長距離記録会	東海大学湘南校舎陸上競技場	2009/4/18	
12	井上 泰加彦	14:03.10	第152回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2003/9/23	
13	難波 幸貴	14:03.47	第219回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2011/10/30	
14	竹下 凱	14:03.89	第3回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016/7/9	
15	蛭名 聡勝	14:05.45	第219回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2011/10/30	
16	中尾 誠宏	14:05.67	第158回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2004/4/29	
17	佐藤 拓也	14:05.87	第158回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2004/4/29	
18	島貫 温太	14:06.19	第262回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2018/4/23	
19	中尾 勇生	14:06.19	第82回関東学生陸上競技対校選手権大会	横浜国際総合競技場	2003/5/18	
20	高橋 裕太	14:06.77	第243回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2015/4/26	
21	大脇 佑介	14:07.25	第186回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2007/4/30	
22	早川 昇平	14:07.40	第222回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2012/4/15	
23	馬場 圭太	14:07.58	第197回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2008/9/28	
24	佐藤 辰準	14:08.36	第197回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2008/9/28	
25	酒井 将規	14:08.46	第186回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2007/4/30	
26	新関 友基	14:08.48	第4回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016/10/1	
27	飛松 誠	14:08.80	第68回中央大学長距離記録会	中央大学陸上競技場	2002/10/6	
28	大沼 睦	14:09.96	第209回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	2010/6/13	
29	安生 充宏	14:10.40	第104回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学健志台陸上競技場	1998/4/26	
30	小田 浩数	14:10.48	春季延岡記録会	西階陸上競技場	2000/4/29	
31	岩佐 竜誠	14:10.57	第4回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016/10/1	
32	畔上 和弥	14:11.06	第4回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016/10/1	
33	濱川 駿	14:11.21	出雲市陸協長距離記録会	浜山運動公園陸上競技場	2016/10/10	
34	杉山 連哉	14:11.55	第1回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2014/4/5	
35	横井 裕仁	14:11.78	第29回法政大学競技会	法政大学多摩校地陸上競技場	2018/5/6	
36	遠藤 大地	14:11.80	第29回法政大学競技会	法政大学多摩校地陸上競技場	2018/5/6	
37	佐藤 諒太	14:12.09	第4回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016/10/1	
38	内田 直斗	14:13.30	第4回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2016/10/1	

最新の施設と設備で学生生活をバックアップ!

ACT Three



主体的な学習をサポートするために、グループ学習など多様な学習スタイルに対応したアクティブラーニング施設。ピアサポーター（先輩学生）による支援が行われている。

キュリオシティホール



席数は1005席（1F 801席、2F 204席）を有し、小ホール1.5倍分の広さを誇る。

メディアライブラリーセンター



蔵書75万冊、1800席の快適な読書・学習空間。PCステーション、グループ学習室は、多くの学生がレポート作成やグループワークに活用。

少人数教室



教員と学生が一体感を持てるような授業展開ができる教室が、およそ90室設置されている。

小ホール



500名を収容できる大きな講堂。大学のイベントをはじめ、各種シンポジウムや講演会などでも使用。

SORATIO KITCHEN



ソラティオスクエアに登場した都心まで展望できるお洒落で美味しいキャンパスレストラン。生涯の思い出になる憩いの場に。

アリーナ



バスケットボールコート3面、バレーボールコート3面、バドミントンコート4面、ハンドボールコート1面を設置。観客席も備えている。

ACT Two



Active Learning & Creative ToolBox、通称 ACTでは、グループ学習など多様な学習スタイルへの対応、マルチメディア設備の充実を図り、学生の主体的な学習をサポート。

帝京大学総合博物館



多摩地域の自然を写真や実物資料、映像を交えた常設展示コーナー、短期間で内容が変化する企画展示コーナーで、帝京大学の歴史を学べる。

キャリアサポートセンター



「就業力育成」「生涯サポート」「キャリアデザイン演習」による大学トップレベルのキャリア形成支援プログラムで学生一人ひとりのキャリア実現をサポート。

SORA RATIO 宙×理性 = 可能性

SORATIOとは…

果てしない天空、宇宙のように無限に広がる空間を表す「宙=SORA」とラテン語で「理性」を意味する「RATIO」を組み合わせた造語。帝京大学の学生一人ひとりの可能性が無限に広がっていく様を表現しています。また高層部・低層部からなる建物群をSQUARE（広場）として捉え、「SORATIO SQUARE（ソラティオ スクエア）」と名づけました。



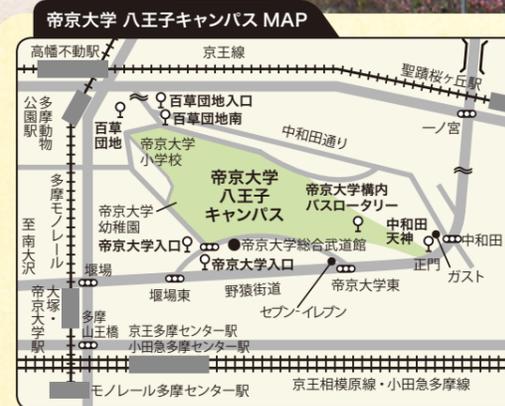
キミの広がる無限の可能性

充実した学びの環境 SORATIO SQUARE

帝京大学八王子キャンパスのリニューアルで誕生した校舎棟 SORATIO SQUARE。免震構造の地上22階/地下2階建ての省エネにも配慮した校舎です。多摩丘陵の豊かな景観や地形と一体化したデザインは帝京大学の教育理念や伝統ある学問の積み重ねを表しています。

「自分流」で学べる10学部

医学部 医学科	外国語学部 外国語学科	薬学部 薬学科	教育学部 教育文化学科 初等教育学科	経済学部 経済学科 国際経済学科 地域経済学科 経営学科 観光経営学科	理工学部 機械・精密システム工学科 航空宇宙工学科 情報電子工学科 バイオサイエンス学科 情報科学科(通信教育課程)	法学部 法律学科 政治学科	医療技術学部 視能矯正学科 看護学科 診療放射線学科 臨床検査学科 スポーツ医療学科 柔道整復学科	福岡医療技術学部 理学療法学科 作業療法学科 看護学科 診療放射線学科 医療技術学科
------------	----------------	------------	--------------------------	--	---	---------------------	---	---



全国に広がる 5つのキャンパス

- 八王子キャンパス
- 板橋キャンパス
- 宇都宮キャンパス
- 福岡キャンパス
- 霞ヶ関キャンパス

帝京大学駅伝競走部 イヤーブック 2018

2018年7月発行
編集：柴山 高宏 (threelight)
撮影：川本 聖哉
写真提供：帝京大学スポーツ新聞部
アートディレクション：kwb
デザイン：村上 一哉 (threelight)
発行：帝京大学本部広報課
東京都板橋区加賀2-11-1



帝京大学 駅伝競走部 公式ホームページ

最新の試合結果やニュースをはじめ、部員紹介や動画まで、さまざまな情報をお伝えしていきます。

<https://www.teikyo-sports.jp/ekiden/>

帝京大学 駅伝競走部

帝京大学
TEIKYO
<http://www.teikyo-u.ac.jp/>